

アウシュヴィッツのゴルベ神父・原画展

絶望からの希望

開催日：2013年7月31日(水)～8月8日(木)

展示時間：10:00～16:00 (申込不要/入場無料)

※8/3(土)、8/4(日)は閉室です。

会場：明治学院大学白金校舎本館9階キリスト教研究所



ミェチスワフ・コシチェルニャック「身代わりを申し出るゴルベ神父」

マキシミアノ・ゴルベ神父
(1894～1941)

ポーランド生まれ。カトリック司祭として1930年～36年には日本でも布教活動を行った。ナチスに批判的として41年にアウシュヴィッツ強制収容所に送られた。同年、脱走者の見せしめとして餓死刑に処せられることになった妻子ある男性の身代わりを申し出て、水や食料を2週間以上断られた後、薬殺された。

ミェチスワフ・コシチェルニャック
(1912～1993)

ポーランド生まれ。画家。アウシュヴィッツで囚人となる。そこで、身代わり、餓死刑に処せられたゴルベ神父の最後の姿を隠れてスケッチする。「身代わりを申し出る瞬間」「刑執行を待つ姿」「囚人服で祈りをささげる姿」「看守に暴行を受ける姿」などのペン画が残されている。